

**Salvador**  
サルバドール



**受け継がれる日本らしさ**

勤勉、正直、礼儀。100年を超えるブラジル日系社会で脈々と受け継がれてきたのは、日本的な価値観や日本文化だ。その支えとなる日本語教育の普及のため、日系社会ボランティアを派遣して日本語教師の育成などを支援している。

**こんなところ!**

ブラジル最初の首都で、奴隷貿易の中心地だった港湾都市。アフリカの影響を強く受けた音楽や格闘技カポエイラが有名。

**Recife**  
レシフェ



**新しい産業を担う人づくり**

国家の一大プロジェクト深海油田「プレサル」の開発が進み、そこから採掘された石油の輸送を担う造船業の需要が急増。しかし、適切な技術を持った人材育成が遅れているため、世界トップレベルの日本の造船技術を生かした技術者の育成が進められている。

**こんなところ!**

ブラジルで唯一オランダに統治された歴史を持ち、運河が残る街。オランダ歴史地区やビーチが人気の観光地。

**日本 vs コートジボワール (6/15)**

**Natal**  
ナタール



**暮らしを変える希望の種**

ブラジルで最も貧困層が多いとされる北東部。そのほとんどが小規模農家だが、雨が少なく過酷な環境だ。そこで、干ばつにも負けない作物の栽培技術を導入。ゴマやハチミツを中心に、飼料作物の栽培やヤギの飼育にも取り組み、生活向上を目指している。

**こんなところ!**

12月25日に町が創設され、ポルトガル語でクリスマスを意味する「ナタール」と名付けられた。砂丘が多く、バギーツアーも人気。

**日本 vs キリシヤ (6/20)**

**São Paulo**  
サンパウロ



**住民に寄り添うおまわりさんが誕生**

1990年代、犯罪率の高さに悩まされていたサンパウロ。まずは警察官と住民の距離を縮め、信頼関係の構築を進めようと導入されたのが日本の交番制度だ。地域ぐるみでの治安の改善につながり、その経験を他の都市、ホンジュラスなどへも展開中。

**こんなところ!**

人口1,000万人以上を擁するブラジル最大の都市。日系人が最も多く、日本との縁も深い。多様な人種が集まる文化の中心地だ。

**Cuiabá**  
クイアバ



**生まれ変わった不毛の大地**

クイアバを含む中西部に広がるセラード地帯。かつては土壌の酸性度が高く、土地が痩せていたが、1970年代半ばから大規模な土壌改良が進み、広大な大豆畑やトウモロコシ畑に。ブラジルを世界有数の穀物輸出国に押し上げた。

**こんなところ!**

南米大陸のほぼ中央に位置し、世界最大の湿原バンタナル自然保護区への玄関口。多様な動植物が観光客を魅了する。

**日本 vs コロンビア (6/25)**

**Manaus**  
マナウス



**森を守って地球温暖化を防ぐ**

世界最大の森林面積を持ち、膨大な二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を吸収・蓄積しているアマゾン。地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の発生を抑えるためには、アマゾンの保全がカギとなる。その対策を取るべく、炭素量の増減を正確にモニタリングする技術を開発中。

**こんなところ!**

アマゾン地域の中心地で、税制が優遇されるフリーゾーンがあり、日系企業も多く進出している。ピラニアなど特有の食材が豊富。

～ 2014 FIFAワールドカップの会場

**日本の協力**

から知る～

**in Brazil**

2014 FIFAワールドカップの試合が行われるのは、ブラジルの12カ所の都市。それぞれの街に広がる日本の協力を見てみよう。

特集 中南米  
ラテンパワーで開く未来

**Porto Alegre**  
ポルトアレグレ



**鉄道で快適にヒトとモノを運ぶ**

ヒトとモノを大量に運ぶことができ、CO<sub>2</sub>排出量が少ない鉄道は、都市に適した輸送手段。日本で研修を受けたポルトアレグレの鉄道会社の職員が中心となって鉄道システムの運営と維持管理方法を導入し、国内外でそのノウハウを共有している。

**こんなところ!**

ポルトガル語で「陽気な港」という名の港町。固有の文化「ガウショ」が誇り。ロナウジーニョなどの有名サッカー選手を輩出。

**Rio de Janeiro**  
リオデジャネイロ



**都市問題を克服して水をきれいに**

リオデジャネイロのグアナバラ湾は、沿岸部に多くの景勝地がある観光スポット。しかし河川から生活・工業排水が流入し、水質が悪化していたため、下水道施設の建設を支援するとともに、施設を維持管理できる技術を持った人材育成も進められている。

**こんなところ!**

美しい海岸線とキリスト像、カーニバルで有名。マラカナススタジアムでは、2014年FIFAワールドカップの決勝戦が開催される。

**Belo Horizonte**  
ベロオリゾンテ



**リサイクルでゴミを減らす**

経済成長と人口増加により急増するゴミ。そのほとんどが埋め立てで処理されているが、維持管理が行き届かず、地下水汚染にもつながっている。そこで市の廃棄物処理担当者に、日本でも採用されているゴミの分別収集やリサイクルの仕組みづくりを伝えている。

**こんなところ!**

町の名前は「美しい地平線」という意味。鉾石や寶石の産地として名高い。世界文化遺産の古都オーロプレットにも近い。

**Fortaleza**  
フォルタレザ



**自然なお産でお母さんになろう**

助産師もいない環境で出産せざるを得ない人もいれば、医療に頼った帝王切開を好む人もいる中、妊産婦を第一に考えた「人間らしい出産」の普及を実施。その取り組みをモデルとした保健医療サービスが、中南米の他の地域にも広がっている。

**こんなところ!**

常夏の太陽と美しい海岸線はブラジル屈指のビーチリゾート。多くの有力政治家を送り出してきた都市としても有名。

**Curitiba**  
クリチバ



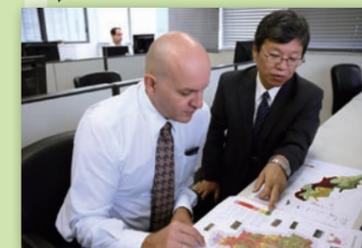
**暮らしやすい都市をつくる**

公共交通機関や公園の整備など、暮らしやすさを中心に計画された「人間都市」クリチバ。しかし近年の人口増加により、渋滞や不法占拠などの課題が浮き彫りに。日本の土地区画整理事業を参考に、ブラジルに合った法制度の整備に取り組んでいる。

**こんなところ!**

ドイツやイタリアなどからの移民が多く、ヨーロッパの雰囲気が漂う緑の多い町。ブラジルではサンパウロに次いで日系人が多い。

**Brasília**  
ブラジリア



**災害に強い国を目指して**

2011年1月、リオデジャネイロ州の山岳部で土砂災害が発生し、死者・行方不明者は1,000人以上に及んだ。この悲劇を繰り返さないよう、災害リスクの把握や災害発生時の情報伝達の強化など、日本の防災力を活用した体制づくりや人材育成が進められている。

**こんなところ!**

1960年に遷都された現在の首都。高原に造られた計画都市で、中心部は上から見ると飛行機の形。世界文化遺産に指定された。